

府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合ってたの楽しく生活していくことを願って、活動を続けています。

くろすろ〜ど

2017/2月号

会報誌

〜サロン月間カレンダー2月〜

■サロンでお茶会

- 2月3日(金) 午前10時~12時
消しゴムはんこ教室 (費用200円)
- 2月10日(金) 午前10時30分~12時
絵手紙教室 (費用100~200円)
- 2月17日(金) 午前10時30分~12時
生け花教室 (花代500円) 要予約
- 2月24日(金) 午前10時30分~12時
ダンス教室
- 2月25日(土) 午後1時30分~4時 要予約
料理教室 ルミエール府中 (費用500円)

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

■日本語ボランティア講習会 (2月の勉強会)

日時: 2月18日(土) 午後2時~4時
場所: サロン3階第2会議室
講師: 東外大非常勤講師 中村則子先生
——日本語の発音について知ろう——

■生活情報支援の会ミーティング

日時: 2月15日(水) 午前10時~12時
場所: サロン3階第1会議室

「東外大連携プロジェクト報告」

月曜午前ボランティア 戎谷 智子

1月13日(金)、サロンで「外大生による生活便利帳完成発表会」がありました。プロジェクト自体(東京外国語大インターシップ受講生と国際交流サロン、府中市役所市民活動支援課の連携プロジェクト)は2016年4月に始まりましたが、実際の「生活便利帳」作成は11月の中旬から本格始動しました。発表会の目標が1月13日だったので何と2ヶ月の余裕しかなく、私たちボランティアは内心ドキドキハラハラのしどおしでした。そして当日、13名の学生さんのプレゼンを聞き、よくぞ短期間でここまで出来たと正直思いました。外大生の素直で真摯な取り組みと、サロンボランティアの猛烈な集中力で「外国人のためのやさしいごみ出しブック」が誕生しました。

発表会は、先ず前半45分が外大生の発表、後半45分がグループに分かれての意見交換でした。サロン側には学習者さんも参加していたので、外大の皆さんは「出来るだけやさしい日本語を使い、ハキハキと話す」ことを意識して丁寧に話しをしてくれました。各ページの制作担当の学生さんが、工夫した点、サロンのアドバイスを踏まえて改善した点、苦労した点などを織り交ぜて説明されました。また、「生活便利帳」とは別に「相談しましょう」と題した電話での問い合わせのシチュエーション会話例やインターネットによる申込み方法も発表されました(府中市のホームページ用)。インターネットに強い学生さんの力が大いに発揮されました。

後半の意見交換でも新たな意見や感想をもらうことができて有意義な時間となりました。学習者さん



の「色分けや写真やイラストでの説明がとても分かりやすい。使える！」とのご意見、とても嬉しかったです。サロンではアンケート実施に伴いたくさんのご意見を頂きました。84名のアンケート結果が今回の便利帳に大きく反映しています。学習者の皆さん、またサポートして頂いたボランティアの方々に心より感謝申し上げます。

世界の文化

「サロンのつどいに参加して」

趙 莉莉 (中国)

連携プロジェクトの発表会風景



去年の11月26日、私は府中国際交流サロンが主催するサロンのつどいに初めて参加した。

楽しみの一つは参加者達が作った色々な国の家庭料理が味わえることです。今回は私も出身地上海料理を一品出しました。

会場に入ると、テーブルの上に綺麗に並べられた料理の数々がすぐに目に入りました。日本料理、ヨーロッパ料理、アジア料理、どれを見ても美味しく、食欲をそそります。

会場の一角には、サロンで行っている勉強会の作品展が展示されていました。美しく描かれた絵手紙、上品に生けた生け花、精巧な手芸品はとても印象的でした。サロンに通うと、日本語だけでなく、日本独特の文化も学べると私を感じました。

会では市長さんと招待客の挨拶からはじまりました。私は挨拶の話を聞いて、国際サロンに対しての関心の高さを実感しました。乾杯の後、私は家族と一緒に各国のグルメを味わいながら、サロン関係者の見事なパフォーマンスに楽しみました。最後にはフォークダンスの音楽が流れる中で、参加者全員が輪になって楽しく踊り、会を締めくくりました。次のサロンのつどいが待ち遠しくなりました。



お料理班の紹介：右から2番目が趙莉莉さん

「夏休みの旅」

ゴ ジャリン ちゅうごく
郭 佳灵 (中国)

去年の夏はギリシャに行きました。食べたり、観たり、泳いだり、楽しかったです。ギリシャのマルタ島に滞在しました。とても海がきれいでした。海の色は濃い藍色や薄い青色などに変化して見えました。泳いだ時、海の中に、大きいや小さいやカラフルな魚がたくさん泳いでいました。

ホテルやレストランの食事には必ずパスタとパンが出ます。(ギリシャの食習慣かな?) 毎日いろいろな種類のパスタを食べることになりました。ホテルの朝食はパンとフルーツでした。いろいろな味のパンと新鮮なフルーツを食べていました。ホテルのあたりには飲食店がたくさんあります。夕食は夫と二人でレストランに行きました、ギリシャ料理とワインです。パスタ、魚、チーズ、牛肉が美味しかったです、それに、店の雰囲気もとてもいいです。マルタ島には猫がたくさんいます、食事の時、テーブルの下にやって来ます。可愛かった。

毎日晩御飯の後に、夫と二人で海辺を散歩しました。マルタ島の物価は高いです。それで、私たちはウィンドーショッピングを楽しみました。街も観光地なのでとてもきれいでした。私は海が一番気に入りました。携帯とカメラで島の写真を撮りました。

これから両親と友達にメールで送るところです。とてもすてきな夏休みでした。



ギリシャ マルタ島の海岸

「老人会に招かれて」

やまぐち
山口 ヴァレリー (シンガポール)

金曜夜クラスの茂田さんからお話があり、文化交流部会の私たち四人(浅井ローナ、小野アムバ、スリー・ハリティニグシー、山口ヴァレリー)は、12月11日(日)に四谷文化センターで行われた「清流会」という老人会のパーティーで民族舞踊を踊りました。

私たちは皆さんに喜んでいただけそうな音楽、踊り、衣装を準備し練習をしてその日を迎えました。会場には大勢のお年寄りがおしゃれをして集まりました。私たちは皆さんと一緒に食事やおしゃべりも楽しみました。付き添いの橋本さん、里村さんがサロンの活動を話し私たちを紹介しました。

続いてインドネシア舞踊を3曲踊り皆さんから歓声が上がりました盛大な拍手をいただきました。ダンスが終わってテーブルをまわってたくさん写真を撮りました。皆さんの笑顔はキラキラ輝いていました。

私たちのダンスを喜んでくれてとても嬉しかったです。寒い日だったがホカホカ暖かい気持ちで帰ることができました。



ちゅうおううひだり ふたりめ
中央 左から2人目がヴァレリーさん

「きれいな国 ポーランド」

のざき
野崎 アガタ (ポーランド)

きよねんの11月19日に、おつとといっしょに日本にきました。私のおつとは日本人です。

今府中に住んでいます。府中はしずかでいいところだと思います。

ポーランドはちゅうおうヨーロッパにあります。

くにのきたがわはうみで、みなみがわは山です。いまのしゅとはワルシャワです。むかしのしゅとはクラコフでした。わたしがうまれたのはオジャルフというところです。

ポーランドのはたのいろはしろとあかです。日本とおなじです。ポーランドのエンブレムはおうかんをかぶったしろいわしです。はいけいはあかです。

にほんでもゆうめいな「森へ行きましょう」といううたはポーランドのうたです。ポーランドごでは“Szła Dzieweczka”といます。ポーランドしゅっしんのゆうめいな人はコペルニクスとキュリー夫人とショパンです。

ポーランド人はポーランドごをはなしますが、いろいろな方言があります。とくにやまがわのひとの方言をりかいすることはとてもたいへんです。

ポーランドのおかねはズロチ「złoty」です。ズロチはゴールドといういみです。1ズロチは30えんくらいです。

なつはすごくあついです。30どくらいになります。ふゆはすごくさむいです。ゆきがたくさんふります。-10どくらいになります。

ポーランドの人たちはたくさんウォッカをのみます。わたしはそんなにのみません。

ゆうめいなたべものはPIEROGIというポーランドのぎょうざです。ほかのゆうめいなたべものは、ソーセージとかつとロールキャベツなどです。クリスマスにはさかなとPIEROGIとバルシチをたべます。クリスマスイブのよるにプレゼントをもらいます。

ポーランドはカトリックのくになのでクリスマスはとてもじゅうようです。クリスマスイブのごぜん0じにきょうかいにいきます。12月24日と25日と

26日はやすみになり、かぞくといっしょにすごします。日本のお正月ににっています。

今ポーランドのとうきはにんきがあります。デザインがかわいいです。

ポーランドのたてものはカラフルで、とてもきれいです。

とてもきれいなくなるので、いちどポーランドにいつてみてください。



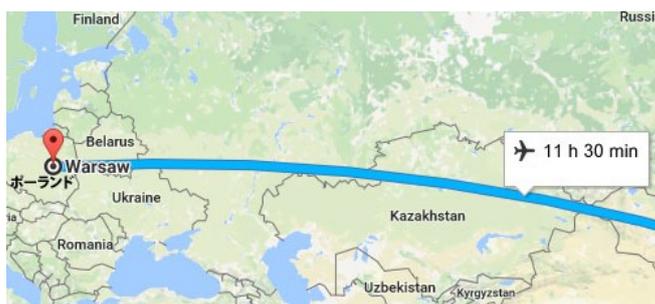
ワルシャワ、ワジェンキの公園の宮殿



昔の首都 クラコフ



アガタさんとご主人



とうきょう じかんはん
東京から11時間半

勉強会報告

～第78回～

「助詞の『は』と『が』を考える」(パートⅡ) —実際の指導法「みんなの日本語」に即して—

研修部会 萱生 由美子

1月21日の柏崎先生の講座には45名が参加しました。初めに、前回参加しなかった人のために「は」と「が」の原則を復習しました。そして、今回のテーマはその原則を学習者にどう教えるかです。実際の指導法は学習者のレベルによって異なります。まず中上級者は原則を、例を挙げて説明することで理解できます。しかし、初級学習者は原則をそのまま理解するには語彙・文型が足りません。そこで、原則や文法用語を使わずに例文や文脈を提示して使い方を理解させ、その都度定着を図ることが肝要です。

今回は、みんなの日本語Ⅰ・Ⅱに出てくる「は」と「が」を順番に取り出し、具体的にどう説明するかを試みました。その一部を紹介します。(詳細は記録参照)

○主題(トピック・題目)「は」

L1: わたしはマイクミラーです。

L2: これに辞書です。

(他にL3・L4・L5・L6・L7)

○判断文「は」

L8: 桜はきれいです。

○対象の「が」

L9: わたしはイタリア料理が好きです。

L13: わたしは車がほしいです。

「対象」という言葉を使わない。「が好きです」

「が嫌いです」「が上手です」「がわかります」と

一緒に練習することで定着をはかる。

先生と参加者が質疑応答をしながらL37まで進みましたが時間切れになりました。実際に文脈を作りながら例文を言わせる指導法は、思ったよりも難しい作業です。終了後、皆さんが消化不良気味でしたので、もう一回このテーマで柏崎先生の講座をやっていただくことになりました。

(3月に予定。今回のハンドアウトをご持参下さい。)

新ボラさん こんにちわ!

月曜午前ボランティア 原田 満彦

人に教えるのは何と楽しく、充実感にあふれたものなのでしょう。生きがいが感じられるほどです。しかし、学習者に「あいにく」「せめて」「なるべく」はどういう意味かと聞かれた時、分かりやすく説明するのは何と難しいことかも実感しました。普段使っている日本語を見つめ直すことが必要になってきました。このボランティアが生まれて初めて、自分自身が日本語と正面から向き合う機会を作ってくれたのです。中学の時、嫌々勉強させられた「学校文法」。でも、今は、他人に教えるために「日本語文法」を理解しようと思っています。

水曜ボランティア 北口 三千代

ボランティアには興味がありましたが、私には無理と諦めていました。退職を機に第一歩を踏み出してみようと思いました。

柏崎先生の講座を受け、母語である日本語について深く考えさせられました。何気なく使い分けている「は・が」など分かりやすく教えられるのだろうか、と不安も抱きました。そして迎えたボランティア初日は、とても緊張しました。先輩のアドバイスに耳を傾け、身近にある物が教材のヒントになったり、図書館で学習者の興味ある図書を借りたりと、工夫が大事と気付きました。

私自身の学びの場でもある国際交流サロンで、いろいろな方との出会いがこれからも楽しみです。よろしくお願ひします。



きんようよる わかさ ゆたか
金曜夜ボランティア 若狭 裕

府中市に住んで半世紀になりますが、仕事のアイデアを機に、今年の9月から金曜夜部会でボランティアをさせていただくことになりました。よろしくお願いたします。趣味は「3G」です。3Gとは、Go(囲碁)、Golf(ゴルフ)、Geige(ドイツ語でバイオリン)のことです。日本語を教えることの難しさを感じずる場面も多いですが、文法的なことだけではなく、日本での生活に必要な場面を中心に、学習者の生活体験が豊かなものになるよう支援してゆきたいと思ひます。学習道具としては、絵や写真に加えてスマホやPCなどの活用も工夫してみたいと思ひています。

きんようよる かつくら きよこ
金曜夜ボランティア 勝倉 清子

金曜夜のボランティアに参加している勝倉です。受講した勉強会では、日本語を改めて学び話すこと、意思を伝えることの難しさを痛感しました。初日は不安を抱えながら出席しましたが先輩ボランティアに助けていただきました。

サロンは「寄り添い助け合いの精神」でしょうか、とてもよい雰囲気構成されていると感じます。学習中は、皆様の笑いの中にも真剣みを感じます。日本語会話のレベルは人それぞれです。「この方はどうのことを学びたいのか?」「今日はこれでよかったのかしら?」と自分に問いかけます。授業の最後に、学習者の方と笑いながら「ありがとうございました。」「こちらこそありがとうございました。」との会話で、疲れも吹っ飛び喜びに感じます。

私には小学生の孫が4人います。孫たちまたその子供たちも、将来海外に行き、反対の立場から国際交流している光景を想像すると、胸が膨らみます。微力ではありますが、これからもどうぞよろしくお願いたします。



皆さんよろしく◇学習者紹介

ヤン イン ちゅうごく
楊 莹さん (中国)



「ポケモンGOに夢中でした」

2016年6月お母さまの再婚先の日本で一緒に暮らすため、中国福建省から来ました。

中学を卒業するまでは、母方の祖母と暮らしていました。

日本で高校に入学するために今勉強中です。日本での生活に必要な日本語を勉強して、学校で必要な英語も勉強しなければなりません。将来それがメリットになり、日本で中国語を教える先生になりたいと思ひています。

日本語では「大丈夫」「有名」など漢字の言葉はわかりやすく好きです。

日本の食べ物は「たこ焼き」が好きで、中国のものは、日本のものとは入っているものがちがいますが、ラーメンが好きとのこと。

ポケモンGOや、スマホのゲーム「陰陽師」(日本の歴史上の妖怪が出てくる)等が気に入っている若いお嬢さんです。ちなみに、ポケモンは100以上集めたそうですが、まだピカチュウは捕まえることが出来ないそうです。(堤林)



「豆単の思い出」

金曜夜ボランティア 和田 泰弘

英単語を暗記する近道として、高校生の頃、赤い表紙の、通称「豆単」(受験用の小さな英語辞書)にお世話になりました。”abandon”にはじまりC)の半ばぐらいまではいくものの、そこから先へ進まず、abandon に戻ること幾たびか、結局身についたのは abandon と、ほかのいくばくもない単語だけ。文字通り、豆単を「放棄」したものです。覚えた単語も、いくつかある意味のうち、最初か次くらいまでしか頭に入らず、その深い意味とは無縁でした。

単語に深い意味や用法、適切な表現があるのを思い出したのは四十の手習いで英会話を習いたてのころ。「賢い」というと、すぐ clever が頭に浮かびますが、smart にも同じ意味があったのです。姿勢が美しいのが smart と思っていたのですが、アメリカ人の友人にそれを学んでからは smart が身につきました。involve も「含む」とだけ覚えていたのが、be involved in で何かに携わる、関係するという使い方もあるのを知り、目からウロコ。died を使わず passed away という表現にも出会いました。「過ぎ去った人生」という云いまわしに深みと温かみを感じたものです。日本語でも、「死んだ」という直接表現を避け、「亡くなる」「身罷る」「旅立つ」「召される」など、婉曲的な表現がいくつかあります。『万葉集』にある大津皇子の歌、

「ももづたふ 磐余の池に 鳴く鴨を

今日のみ見てや 雲隠りなむ」

の「雲隠る」もそのひとつです。謀反のかどで処刑される時に辞世として詠んだもので、いつも見馴れ親しんだ池の鴨を見るのも今日が最期、というのが大意です。鳥には亡くなった人の魂を黄泉へと運ぶといういわれがあり、歌の裏には、これから死んでいこうとする自分の魂の姿とその行方を池の鴨に見ている作者の真情が隠されているという解釈を大学時代の講義で聞いて以来、「雲隠る」は神秘的なことばとして脳裏に焼き付いています。かつて、京都に住む友人の案内で二上山の頂にある大津皇子の墓所を訪ねたことがあります。そこからは大空を舞う鳥の姿がよく見え、西方へと飛んでいくイメージが「雲隠る」に重なったものです。

閑話休題。ことばにはいくつかの深い意味があり、さらにそこから派生する類似語もあります。ひとつのことばを凝視すると世界が広がっていきます。折しも春は受験の季節。豆単から解放され、いつの日か受験生たちもことばの豊かさに触れられんことを。

私のつぶやき

～サロン・ツイッター・コーナー～

「置かれた場所で咲くこと」

金曜夜ボランティア 里村 恵

受験シーズン真っ只中、受験生も親も偏差値の高い大学目指してやつきになるこの季節が来ると、私が営んでいる婦人服店での忘れられないお客様を思い出します。開店間もないある日、俗世間離れた方がおずおずと入店されました。知的な感じはしますが、無口でお世辞にもお洒落とはいえない難いその女性は、その後週一度は立ち寄られるようになりました。会話のやり取りはほとんどありませんでしたが、私は丁寧に根気よく接客を続け3ヶ月後には試着もされるようになりました。

ある日、その方のお母さまが来られ、「うちの娘はこちら様のおかげで 試着して買い物ができるようになり、本当に感謝しています。」と話されました。お母さまによると、娘さんはT大学で教鞭を執られインド史を専門にし、英語は勿論インドの言語も5種類くらい堪能とのこと。それを伺ったあと彼女の翻訳本や講演に接することがあり、彼女が大変なキャリアを持たれた方だと知りました。きっと学問が面白くて、ほかのことに興味が向かなかったのではないかと思いました。あれから20数年、彼女は今でも私の大切なお得意様です。

学問分野では種もまけない私でもこのように感謝されたことが嬉しい思い出となっています。ベストセラーに『置かれた場所で咲きなさい』がありますが人は皆、ふさわしい場所で花を咲かせられるのではないのでしょうか。



みんなの広場

へんしゅうこうき
～編集後記～

この「ことば」知っていますか



(生活情報コーナー)

毎日の生活には、いろいろな日本語があふれています。知らない「ことば」に出会ったらどうしよう？

ちょっとメモして、ボランティアの先生に聞いて、いっしょに勉強するのもいいですね！

このコーナーでは、学習者の皆さんの生活に役立つ「ことば」を紹介していきます。

昨年11月に広島に行ってきました。一日目は市内、二日目は宮島を訪ねました。宮島では朝早起きをして、世界遺産の厳島神社に行き、そこで“驚き”の光景を見ることがになりました。朝六時頃、大鳥居の下は水が引いており、その周辺20～30メートルは歩くことができました。その後、昼前に再び行ってみると、何と大鳥居の周りは完全に水没しており、神社の本殿に向かって海水が川の逆流のように“ひたひた”とさかのぼっていくのです。そして、水は本殿下のあらゆる所へ流れ込んでいきました。

大自然のパワーってほんとうにすごい！！ (安島)

えてがみ
絵手紙

★生活に役立つ「ことば」★

野菜の切り方

料理によって、おいしくなる切り方があります。ことば遊びにもなりますね。

| | | |
|--------|---------|------|
| いちょう切り | みじん切り | せん切り |
| 短冊切り | ひょうし木切り | 乱切り |
| くし形切り | ざく切り | 小口切り |
| ささがき | 角切り | 飾り切り |
| そぎ切り | | |



もっとありますね。それぞれの国によってもあるとおもいます。ボランティアさんと話してみませんか。

生活情報支援の会



木坂陽子



里村恵

【編集】会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail : salon@fuchukokusai. gr. jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai. gr. jp>